

極微ごくみ

虎から飛翔

昨年を表す漢字は「虎」だった。やれば出来た阪神タイガースに日本中が湧いた。仏者なら、金光明経に出てくる、大慈悲の故に薩捶王子が飢えた虎に身を投げ与えた場面を思い浮かべるところである。

次点は「戦」、「乱」だった。指導者に、生後間もない七匹の子を持つ飢餓瀕死の虎に、捨身した王子の大慈悲心を持つことができれば、戦や乱など起こりようがないのと思

う。さて、今年は、どんな年になるだろうか。爽やかな漢字のふさわしい年になって欲しいと念願する。

第10号

2004年(平成16年) 1月1日 木曜日(毎月1日発行) 1部50円(送料別) 発行所/天台宗出版室 発行人/出版室長 工藤 秀和 〒520-0113 大津市坂本4-6-2 天台宗務庁内 電話 077-579-0022 (代) Eメール/T-Press@tendai.or.jp

天台ジャーナル

The Tendai Journal

新年 謹賀

蘇れ!日本人の仏性

自らの声に耳を澄ませて

大好きなあなたへ

新しい年が明けた。今年、天台宗は、これまで拠点のなかった沖縄県に、新しい法灯がともる予定である。

開宗千二百年慶讃大法会も、檀信徒総授戒を掲げ二年目に入る。「あなたの中の仏に会いに」をキャッチフレーズに全国で授戒会が開かれる。

だが、気になるのは日本にもうひとつ元気がないことだ。

景気は回復のきざしといわれるが「頑張れ日本」や「危機を救え」などのスローガンは、やはりこの十年近く低迷する我が国の現状を反映している。金融危機、少子化、年金不安などの内憂に加えて、テロや戦争、自衛隊海外派遣という外患も抱える。

その根底には、あまりにも物質による幸せ幻想に慣らされてしまった日本の浅ましさがある。

私達天台宗が総力を挙げて

かつて、日本は世界から「エコノミックアニマル」といわれるまで、経済至上で突き進んだ。その経済が低迷すれば、心の抛り所さえなくなってしまったように見える。

モノ、カネという欲望の奴隷となるのではなく、自らの心の声に耳を澄ませて生きてゆくことが必要だ。新年にあたり静かに、そして素直に、自分の中にある仏と向き合いたい。

再生の道がある。

第十回静岡一短い手紙(静岡放送ラジオ)で、小学校三年生の金井みゆきちゃんは「大好きなおちゃんへ」で次のように書いた。

「家の下が工場だから、横をむいてねると、きかいの音がするヨ。だから一人でねていてもこわくないヨ。とお

ちゃん、仕事がんばってネ」。

この確かな信頼と愛情を私達は仏性と呼ぶ。かつて、日本人は、大人も子どもも互いにこのような気持ちを持っていた。そして、その根っこを静かに流れるのは仏の教えである。言うまでもなく、この美しい心が日本を蘇らせるのである。そう私たちは信ずる。

素晴らしき言葉たち

Wonderful Words

悲しみのない人生などありません。ときにはうちのめされることもあります。神様はちゃんと見ていて天秤が悲しみばかりに傾かないように、喜びも経験させてくれる。喜びを探してごらん。喜びを胸に刻んで、できることなら、自分で喜びを作り出してごらん。そして、どんな喜びであろうと、それをいつまでも大切に抱きしめていてください。

「エミリーへの手紙」

キヤムロン・ライト著 小田則子・恒志訳

これは、もう亡くなった老人が七歳の孫に残した手紙の一節です。妻に先立たれ、自分の子どもとは心を通わせることが出来ず、アルツハイマーに冒されて、人生の終わりが近づいた老人が書いた手紙です。

日本流に言えば遺書ということになるのでしようが、この手紙には自分が歩んできた人生や、自分の真実の姿、家族の大切さを知ってもらいたいという願いが込められています。老人は、自分のことを少女に「親友」として覚えて

ていてもらいたいという願いをもっています。それ以上に「人生における答えは、いつも目に見えるわけじゃない。物事を見極めるためには、いろんな方法がある」ということを教えるのです。

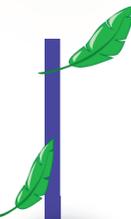
「いつも最善を尽くして下さい。一日の終わりに鏡に映った自分を見て、今日は精いっぱいしたことをしたと思えたら、その先もきっと満足のいく人生を歩めます」という言葉に、少女は祖父の人生を知り、また自分の人生を考えます。そして、また私達も。

A Story in the Tendai

生まれ変わってもお寺に嫁ぎたい

天台宗寺庭婦人連合会会長 大沢 和世 さん

仏と生きる



Vol.1

仏と生きるのは、僧侶だけとは限らない。人生の重荷を背負った人や、一見幸せに見えても、人には知られないように仏と生きている人は多い。あるいは仏から逃げて、逃げて逃げ切れぬ人や、それとは知らずに仏の手の中で生きている人もいる。新しいシリーズ「仏と生きる」で訪ねるのは、天台宗とその周辺で、人生を仏に託して生きる人々である。そして、ここで語られるのは、その人のみが語ることができる、たったひとつの物語である。

厳しく仕込まれた、女性のたしなみ

寺庭婦人とは、家庭婦人に対して寺の婦人、要するに寺の奥さんのことである。他宗では、坊守さん、大黒さん、真方さんなどと呼ばれる。どの呼び方にも、住職を支えて陰で頑張るといイメージが強いが、実は最高実力者の場合が多い。そのことは、家庭を持っていない男性諸君なら容易に推察のつく所である。特に寺では、法儀以外は、檀家・信者の相談、接待、交際という基幹部分は「奥さん」や「若奥さん」が受け持っている。寺庭婦人が寺に果たす役割は絶大である。一寺院に住職は一人だが、寺庭婦人数の実態は住職婦人はもちろん、前任職婦人も、副住職婦人も含むので住職数をしのぐが、台帳に登録された数だけみれば千七百二十九人。各教区の寺庭婦人会を全国規模で統合したのが天台宗寺庭婦人連合会であり、そのトップに立つのが会長・大沢和世である。

出身は、信濃の国分寺。長野県上田市の塩入家に生まれ。群馬県の大沢亮啓長光寺住職から、結婚の申し込みがあったのは、約五十年前のことである。老僧と檀家総代を二人連れて来たというから、寺をあけてのプロポーズだった。「父も、世話人総代の心意気に感激し、それならということでしたし、私も、これはまあ、大事にしていただけだから」と。

しかし、嫁いだ当時の長光寺の境内には、長屋があった五家族が居住し、近所には練炭屋やアンカの工場もあった時代のことである。上州のからつ風が吹く中、寺の維持と境内の整備に取り組んだ。寒行には夜明け前に起きて炭をおこし準備したという。今は、スイッチひとつで暖房はOKだ。しかし、寒行中は起床は毎朝四時だった。夜の十時には、自室に下がるが、



「次に生まれても、絶対女性。そして寺に嫁ぎたい」と語る大沢さん。後ろは長光寺本堂

母と飾りし日の遠し

比叡山に花摘という風雅な名前の峰があり、花摘堂の跡がある。昔、ここで摘んだ花を延暦寺の堂宇に供えたのが名の由来だ。かつて比叡山は女人禁制だった。厳しい修行に入った最澄を訪ねてきた母は、花摘堂で最澄と会ったという。その故事にちなんで、女人禁制時代の比叡山は、旧暦四月八日のみ女性がこま登ることを許したという。多くの女性が、比叡山で修行する息子や、かつて秘かに思いを寄せた男性を、この地で

お茶、お花、書道、着物の着付け、裁縫など、現代ギャルには相当に高いハードルかとも思われる。「それは、必須じゃありません。要は住職と共に生きるという姿勢の問題」とは言われるものの、大沢自身は、これらすべてに精通している。「私達の時代はね、一通り、裁縫や料理で一人でも生きていけるぐらいに仕込まれたんです。ですから、私ぐらいの年代の方はみな出来そうですよ。それが、女性の道でしたから」。

女性の道とは、また古語を聞く思いだが、寺に閉じこもっているばかりではない。民生委員も二十四年務め、若い時から、車も運転した。女性ドライバーなど、全国でも珍しかった時代を考えれば、古風なだけの寺の奥さんではないのである。「以前は、群馬から実家の長野まで、碓氷峠を越えて飛ばしたもんです。それも日帰りです。サングラスを粋にか

女性たちのサンガ

転機は、小学校三年生の時だった。「近所のお姉さんたちに誘われて、泊まりがけで合宿に出かけたんです。ゲームをしたり、お話を聞いたり、あんなに楽しいことなかったわ。それは、キリスト教の団体

が主催した「少女の集い」のような会だった。そのあとが夕夕では済まない。「父は激怒しましてね、母と一緒に本尊様にお詫言に行かされました。人は、子どもの頃に満たされなかつた思いを満たすために、その後の人生を生きて



比叡山中に、ひっそりと佇む花摘堂跡の石碑

取材に訪れたのは、ちょうど長光寺の成道会行事の翌日だった。毎年、成道会に作るという「銀杏おこわ」をこ馳走になった。境内にある銀杏の木から落ちる銀杏を剥くのは、後述する長光寺住職の役割である。もち米十五キロに対して銀杏五、五キロを入れて炊きあげる。薄い塩味に黒ゴマがよく効いて、銀杏の甘みとよくマッチした禅味である。なるほど「二人でも食べていけるように仕込まれた」という味だと納得した。

いわれる。もしもそうであるなら、大沢は「あんなに楽しいことなかつた」女性による信仰の会(僧伽)を創るべく生きてきたのかもしれない。昭和四十二年、群馬教区に寺庭婦人会を立ち上げた。連合会会長の就任は平成九年である。現在は、全日本仏教婦人連盟の常任理事も務める。国際青年である昭和五十年には、長光寺に長年の夢であった仏教婦人会を創設した。四百人の会員が集まった。一月の修正会から始まる年中仏教行事のほか、講演会や旅行を主催する。同会事務局長の笠原公子は「会長のフアンクラブです」と笑うが、その笠原は、かつて十五歳の娘を亡くして、長光寺に縁を得た人である。どうしても消えない悲しみを常に抱きながら、仏教婦人会に参加し、大沢に寄り添うようにして、自らを励ましてきた。二人は長い時間を共に過ごし、ながら、仏教婦人会の仕事をしてきた。笠原もまた、仏と生きる人だ。

一隅を照らそう

総本山延暦寺御用達
土工、鳶、建築一般

能登与 山本 房子

〒606-8192 京都市下京区富屋町48-1
電話 075(351)2895

天台宗務庁御特命
三諦章袈裟専織所

森 忠 法 衣 店

五代目 森 忠 兵 衛

〒604-0842 京都市中京区押小路通烏丸東入
電話 075-231-1203番
FAX 075-255-7020番

※ 紙面の都合により、荒了寛師の「ハワイ開教奮戦記」は休載いたします。ご了承下さい。



「追悼」より。句、書、画とも大沢さん

享保雜母と飾りし日の遠し
写真と文・出版室編集長
横山 和人

万人に語りかける ブツダ

～「スッタニパータ」をよむ～

天台宗 勸学院 院長 雲井 昭善・著
総合研究センター長

Brand New

第一章 原始仏典について



天台宗の勸学院長であり、総合研究センター長をつとめる雲井昭善師の著になる「万人に語りかけるブツダ」が、

このほど日本放送協会よりNHKライブラリーの一冊として出版された。

同書は、著者が二〇〇二年四月より二〇〇三年三月までNHKラジオ第二放送「宗教の時間」に「原始仏典『スッタニパータ』をよむ」で放送したガイドブックを採録したものである。

雲井師は、本書の基本姿勢として「何よりもまず仏教の開祖釈尊に『ゴータマ・ブツダが自らの生をどのように見つめ、不可避の死をどのようにみずえたかという生死観を浮き彫りにすることを考えた』とし、もうひとつ「仏教という宗教が現代にどう機能しているか、というテーマへのアプローチ」をテーマとしている。

る。



発行：日本放送出版協会
定価：本体 970 円 + 税

世界各地域における闘争、飢餓と貧困、環境汚染の問題等々に仏教はどのように応えているのか、その問いかけはごく普通の人間の営みにおける苦悩と密接に関わるものであり、釈尊の示唆に富む回答は如何に答えたか、人類の大きな指針となる。

著者は大学で原始仏教を専攻し「スッタニパータ」と出会った。それは「大義のない戦争」だからではない。釈尊のみ教えに従い、人の命を奪い、環境を破壊する戦争そのものに反対してきたのである。従って、戦争の継続している地域へは、自衛隊を派遣すべきではないと考える。

鬼手仏心

殺してはならない

天台宗務総長 西郊 良光

新年だから、明るい話をしたいと思うが、やはり自衛隊のイラク派遣のことが頭から離れないので、そのことを書きたい。

自衛隊のための組織を戦闘地域に派遣することに反対する意見が多い。

小泉首相は「日本は『完全に安全になったら出かけます』ということで国際責任が果たせるのか。国際社会の中で名誉ある地位を占めたいという憲法前文の精神と合致するのか」と述べた。

終戦以来、日本が直面した初めてのケースである。有力

なマスコミ各社の意見も分かれています。

どちらの主張も、国益や憲法違反という政治的言語を全面に出して展開されている。私は、ひとりの仏教者として仏教の立場から考えてみたい。

釈尊の示された最も基本的な五つの戒律を五戒という。その第一番目にあるのは「殺してはならない」である。すべての生けとし生けるものに慈しみの心を持つことが必要であると説かれている。

私たち天台宗は、イラク戦争そのものに一貫して反対し

てきた。それは「大義のない戦争」だからではない。釈尊のみ教えに従い、人の命を奪い、環境を破壊する戦争そのものに反対してきたのである。

従って、戦争の継続している地域へは、自衛隊を派遣すべきではないと考える。

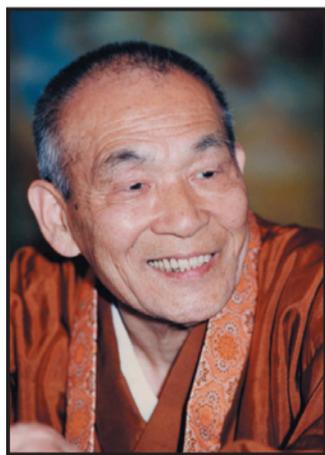
イラク全域が戦闘地域である以上、自衛隊の安全確保もできず、「正当防衛」による「戦闘」が予測されるからである。テロの犠牲に斃られた奥

克彦大使、井ノ上正盛一等書記官のご冥福を心よりお祈りする。

西村公朝師を偲んで

東京芸術大学・叡山学院名誉教授の西村公朝師が十二月二日に八十八歳で遷化された。

仏像彫刻の権威であり、天台宗大仏師法印の称号を持ち、今年四月には天台特別功労賞を受賞された。その時の記念講演では、仏像彫刻の苦しさについて語られ、斯界の第一人者であるにもかかわらず「天台の仏の形とは何かと考えると、なまこ精進を続けられてることを参加者に印象づけら



れたばかりであった。また、天台宗の発行している「開運招福カレンダー」には、毎年快く仏画を寄贈頂き、惜しみないご協力を賜っていた。

本葬儀は十二月十八日に自坊の愛宕念仏寺でしめやかに執り行われた。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

南無阿弥陀仏

名号入り老眼鏡

厚生労働省許可

全商品右つる内側、名号入り
名号はレーザー刻印加工のため消えることはありません。

お申し込みは今すぐはがきか FAXで

フリーダイヤル **FAX/0120-085-206**

- 商品番号 ●メガネの度数 ●ご住所(フリガナ)
 - お名前(フリガナ) ●お電話番号 ●〒郵便番号
- 明記の上、下記までお送り下さい。

〒916-0015 (株) **ダイヤサンフレーム** 天台係
福井県鯖江市御幸町3丁目5-14-2
TEL. 0778-51-1361(代)

◇お支払い方法について◇
商品到着時に代金引換(カード可)

度数	1.00	1.50	2.00	2.50	3.00	3.50
年齢	40~45	45~50	50~55	55~60	60~65	65~

商品番号 **480-GR** (グレー / 紳士用)



4,900円
(税込、送料込)

南無阿弥陀仏

商品番号 **481-BR** (ブラウン / 紳士用)



4,900円
(税込、送料込)

南無阿弥陀仏

商品番号 **750-PK** (ピンク / 婦人用)



5,400円
(税込、送料込)

南無阿弥陀仏

商品番号 **751-GP** (ゴールド / 婦人用)



5,400円
(税込、送料込)

南無阿弥陀仏